

2024-25

国際ロータリーテーマ

2024-25 会長方針

Weekly Report No.2396



不易流行 ～より良い未来の実現のために～

会長 荒木義男 幹事 虫賀大輔 会報委員長 佐溝勝樹



事務所：〒501-6241 羽島市竹鼻町 17-3 TEL：058-392-2888 FAX：058-391-2260

例会日：毎週火曜日 12:30～13:30 例会場：西松亭 Email：hashimar@ccn.aitai.jp

zoom ID:556-098-4805 / PASS:4361 URL <https://hashimarc.com>



本日のプログラム

第 2684 回 2024 年 10 月 22 日(火)
『ガバナー公式訪問・会長幹事懇談会
岐阜西濃グループ合同例会・インターシティーミーティング』
亀井 喜久雄ガバナーをお迎えして
大垣フォーラムホテル

次回例会のご案内

第 2685 回 2024 年 10 月 29 日(火)
『プログラム卓話』
卓話「延長された事業継承税制」
公認会計士 山崎 雅人様
* IM 報告

前回例会の記録

第 2683 回 2024 年 10 月 15 日(火)
『クラブフォーラム』米山
卓話「日本における在日ミャンマー人の役割」
米山奨学生 ピョ タンダー チョーさん
*米山特別寄付

来客紹介



水口 弘士様
(広島城南 RC)



地区米山奨学会委員会
委員 安田 知永様

会長の時間

会長 荒木 義男
皆さん、こんにちは。まずはお客様のご紹介です。本日、広島城南 RC より、水口弘士様がお越しです。フェローシップの証として、バナーの交換を致します。ようこそお越しくださいました。羽島 RC 一同、歓迎いたします。どうぞごゆっくりお過ごしください。

そして、本日は米山記念奨学委員会主催のクラブフォーラムということで、岐阜南ロータリークラブから米山記念奨学委員会地区委員の安田知永様と、米山奨学生のピョ タンダー チョーさんにお越しいただきました。ピョさんには卓話をお願いしておりますので、また後ほど

よろしくお願い致します。

さて、前回の例会でも 10 月は重要行事が目白押しとお伝えしましたが、全会員が参加できるものばかりではありませんので、そのエッセンスを少しご披露したいと思います。

4 日に開催されました歴代会長会では、パスト会長の皆様より会員増強についてのお考えをお聞きすることができました。増強とは本来、「増加」と「強化」であります。よって、会員を増やすことはとても大切ですが、それよりもっと重要なのは強化、すなわち現会員のレベルアップであり、クラブとして立派なロータリアンを育てていく仕組み作りです。

入会して良かったと実感できる親睦行事や奉仕活動がなければクラブの魅力を感じることができず、おのずと例会出席率も低下し退会に繋がってしまうのではないかとのご意見がありました。また、もっと SNS を活用して、我々の価値ある活動を世の中にアピールし、会員増強につながるべきとのご意見もいただきました。

このお考えについては私もまさに同感で、やはりいろんな行事に参加して経験を積み、時には諸先輩方と議論を交わしインスピレーション(気づき)を得ることで、自分の中に「ロータリー魂」なるものを醸成していけるのではないかと思います。

さらに私見ですが、会員増強の本質的意義は「事業継承」と同じであると考えています。これまでの 100 年からこれからの 100 年へと賛同する仲間を増やし、次

世代へ繋いでいく責任が、私たちにはあると思うのです。

次に、RIが求める3Year Rowling Target Planとして、当クラブも会員増強3年計画を掲げ、60周年記念事業年度までに純増10名を目標としておりますが、それとは別でクラブ全員が共有できる中長期の達成目標、こんなクラブにしていこうよ！と全員が言える目標を設定してほしいのご意見もあり、取り入れていきたいと考えております。

他にもいろんなアドバイスを頂戴しましたが、歴代会長のお考えにもそれぞれ異なる部分があることに気づきました。これからのクラブの方向性を決めるにあたっては、理事会に最終決済権限があるものの、全員参加で行うべきものでありますから、幅広く意見を求めることも重要と考え、会員満足度アンケートを実施することを提案し、歴代会長会でもご賛同をいただきました。

よって、皆さんから現在のクラブ運営に関するご意見やこれからのクラブに期待することなど、無記名にてご記入いただき会長・幹事で取りまとめ、内容によっては12月の年次総会で審議することも検討していきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

そして今日はもう一つ、皆さんにどうしてもお伝えしたいことがございます。それはこちら世界ポリオデーです。最近のニュースで、ガザ地区でポリオの予防接種が行われると知り、はて？ガザ地区にポリオはいなかったはずではと不思議に思いましたが、長引く戦闘による衛生環境の悪化が原因で25年ぶりにポリオの感染が確認され、今その蔓延が懸念されているというのです。もう少しで根絶できるはずが復活していると聞き、ガザの子供たちの不遇さに思いを馳せると同時に、腹立たしくさえ感じました。

また、私たち日本人にとってポリオは無縁のように思いますが、かつては日本でも蔓延したことがあり、伊勢中央RCの浦田PGは、ポリオサバイバーであることを昨年の9RCのIMの中でお話しされ、3歳まで立ち歩きが叶わなかったと聞きました。いわゆる小児麻痺と言われた感染力が非常に高い、怖ろしい病気なのです。

皆さんご存知かと思いますが、赤ちゃんが生後2カ月から受ける5種混合予防接種の中にはポリオワクチンが入っています。日本で発症例がなくとも、世界のどこかにポリオウイルスがいる限り、予防接種をし続けなければ

なりません。また、ポリオワクチンはとても高額です。一人あたり約1万円ですから年100万人生まれれば単純に100億円で、4回打ちますからポリオワクチンだけでも400億円にもなるのです。これは日本だけの計算です。このコストをなくせれば、どれだけの貧困家庭を、何人の学校にいけない子供たちを救うことができるのでしょうか。だからこそ、ロータリーはポリオの根絶に力を注いでいるのです。

ちなみに私の知人のビルくんは、我々ロータリアンが寄付した額の2倍の金額を寄附してくれていて、その金額は毎年1億ドル、約150億円です。いずれ平松R財団委員長からポリオ募金のお願いがあるかと思いますが、今期はさらに上乘せのポリオプラスソサイエティへ一人でも多く申し込まれることに期待して、会長の時間と致します。ご清聴、ありがとうございました。

クラブフォーラム 米山奨学会委員会

「日本における在日ミャンマー人の役割」

2024 学年度ローター-米山記念奨学生
ピョ タンダー チョー 様



これから私の研究テーマについて述べさせていただきます。研究の目的は早くミャンマーが平和になるために日本にいるミャンマー人達の出来ることやミャンマー人労働者を受け入れ日本のために労働者問題を解決したいからです。

クーデター後のミャンマーは、2021年2月からは経済の動きがほとんど止まっていました。民衆は基本的に外出しない。外出する場合はデモにするといった日が多く、とにかく経済活動はほぼ止まっていました。企業も休業するところが多く、ミャンマーからの撤退も相次ぎました。稼働している会社もありますが、100%稼働ではなく、シフト制にして必要なときだけ仕事に行くような会社もありました。そうした点で、ミャンマー国内に失業者が増大したという現状があります。約100万人の失業者が新たに増えたのではないかとされています。失業者が出るということは、貧困が増大することも意味していて、ミャンマーでは2019年の貧困率と比べて、約2倍になったという見方もあります。

ミャンマーは農業大国のため、偏差値の高い大学を卒業し優秀であっても、国内では就職先がありません

し、もともと海外への出稼ぎ労働者が多いミャンマーだが、待機を強いられていた希望者が一気に押し寄せています。さらに国軍統治を嫌って国を離れる若者が増えています。クーデター後、市民の多くが国軍への不服従運動（CDM）に加わり、政府職員や医師、教師、国軍とかかわりがある民間企業を中心に職務が止まっています。それに、勉強を重ねてから理解したのは、失業者が増えるとその分だけGDPが低下し、所得の少ない世帯が増え、貧困層が増加することです。

国内戦争で仕事が出来ないため、生活が大変なので他国や日本へ外出する若者が増えて、海外で働く国として日本が一番人気です。理由は日本がミャンマーの独立を助けた国であること、アジアの先進国として尊敬され、憧れる国であること、仏教国で文化が似ていること、国民性が近いこと、日本が安全で綺麗な国であることなどです。仕事がないから困っているミャンマー人の若者達を日本で雇用することは日本人の労働力人口減少を補う友好的な手段にもなります。少子高齢化の影響で、日本人の労働力は年々減少傾向です。総務省統計局公表の労働者人口で公表されたデータによると、2003年から2023年の約20年間で、日本人の労働力人口は173万人も減少しています。特に15～34歳は476万人減少と深刻な状態です。日本人の平均年齢は約49歳と世界で2番目に高齢化が進んだ国となっており、若者を中心に労働力の減少が顕著になっております。

それを解決する一部として、在日ミャンマー人は、日本で仕事を頑張って日本のルールなどを守りながら、沢山のミャンマー人労働者を受け入れてもらうため頑張るべきです。私も将来的には、大字で学んだ知識や社会人経験から得た知識を生かして、日本に来るミャンマー人ために役に立ちたいです。いつか、ミャンマーに戻ってからも、ミャンマーの失業者達の力になりたいと考えています。母国の人達に日本人のように仕事について悩みがなく、自分がしたい仕事についてもらいたいです。そして、失業率が低くなってミャンマーの経済が発展していくことを望んでいます。様々な技術面、金銭面で母国や日本をサポート出来るように頑張っていきたいです。

委員会報告

第3回IDM報告

報告者 R研修情報委員長 柳原 望成

親睦家族はロータリーの原点で会員及び会員家族との交流を図り、連帯と絆を深め、例会は有意義で楽しい例会にするように努め、さきに開催された納涼例会、12月に開催される年忘れ家族例会、また通常の例会について意見交換しました。

久米会員…家族からどう思われているか？家族の理解を深める為に年忘れ家族な

社会員…年忘れ例会では家族で楽しんで、他のロータリーの会員を紹介しロータリーの例会に出席する意義を見せる為、もっと家族が参加できる特別例会を企画してほしい。

大橋会員…いつも家族といるからロータリー各例会など参加していきたい。

横山会員…家族が参加できる特別例会に参加し、良いロータリーのメンバーに会ってもらいクラブ奉仕する自分見せたい。

リーダーである松田親睦委員長からは、会員それぞれが様々な状況にある中で、家族例会ばかりを目指すのもどうかという意見もいただきました。

今回、親睦家族のテーマでの意見交換がありました。年数の若い会員と熟練会員の考え方のどちらも理解出来ました。例会に参加することで自分を磨くことが大切であり、会員同士の理解を深めて楽しい例会になる様に努めます。

出席委員会

- 本日の出席率
出席規定会員数 31名中 19名 61.29%
- 10月1日の補填出席率
出席規定会員数 33名中 30名 90.91%

ニコニコBOX委員会

◎ニコニコBOX

◆米山奨学会委員会 安田 知永様 (岐阜南RC)
米山奨学生 ピョ タンダー チョー様

日頃より米山奨学会委員会の活動に多大なご協力を賜りまして誠にありがとうございます。また、この度は卓話にお招きいただきましてありがとうございます。羽島ロータリーの例会に初めて参加させていただくことを緊張しながらも楽しみにしてまいりました。短い時間ではありますが、本日の卓話をきっかけに米山奨学会と奨学生について、ご理解と親しみを増していただけますと幸いです。

それでは今日一日よろしくお願ひいたします。

◆荒木 義男君 虫賀 大輔君 柳原 望成君
 加藤 宗雄君 西松 永根君 松田 和彦君
 野中 学君 栗山 和洋君 佐溝 勝樹君
 興石 豊君 久米 勉君 天野 洋和君
 加藤 隆康君 辻井 晃君 森 輝廣君
 佐藤 裕昭君 青木まき子さん 山下 正弘君
 大橋 竜二君

本日はクラブフォーラム米山奨学委員会担当となります。「日本における在日ミャンマー人の役割」と題し、米山奨学生より卓話をいただきます。ピョ タンダー チョーさん、よろしくお願いします。

本日のニコニコBOX	29,000円
------------	---------

◎仕合せ貯金

荒木 義男君 佐溝 勝樹君 森 輝廣君

本日の仕合せ貯金	3,000円
----------	--------

地区大会報告

加藤 隆康

今回 2024～25 年度国際ロータリー第 2630 地区、地区大会に参加させていただき、1,457 名の参加と聞き、改めてロータリアンの絆を感じるとともに、ここまで人が集まるロータリーの魅力に興味を持ちました。

『地域にインパクトを』をテーマに行われたこの地区大会。会長は地域にまず働きかけ、その地域の認知度と社会的地位を向上させ、結果会員獲得につなげていくとお話しされて見えました。組織の存続は会員拡大にあり、という考え方は元をただせば、組織としての指針が構築されているからこそ、その魅力はふれずに発信されていくのだと感じました。

このように、クラブが一堂に会し、様々な奉仕プロジェクトやプログラムを紹介することで、互いの情報を共有し、奉仕への意欲を喚起し、相互の交流と親睦を深めることがこの地区大会の目的なのだ理解しました。

個人的には野村 忠宏選手の講演の中で、「弱さをさらす」という言葉が印象的でした。プライドもここまで積み上げてきた地位も一旦リセットし、周囲に何を言われようと、ただ、ひたすらに走り続ける意思のぶれなさに感銘を受けました。

この地区大会は僕にとって、大会の開催意義を改めて理解できた実りある有意義な事案でした。ありがとうございます。

辻井 晃

10月5・6日の2日間、国際ロータリー第2630地区大会が名張市の地で開催されました。

1日目は荒木会長、虫賀幹事、地区委員会の研修・学習委員会委員長岩田さんの3名が出席をされ、2日目は他9名の会員が出席しました。

会場には登録数1,427名(内14名が海外の方)が参加しており大変盛り上がりました。

アトラクションは名張市出身「OSK 日本歌劇団」所属活躍中の椿りょうさんのとても華やかなステージに魅力されました。

また、柔道家の野村忠宏氏の記念講演では、自身の幼い頃からの経験談、目標を持ち続けオリンピック3連覇した話を聞くことが出来ました。明確な目標を持つことで、達成することへの意欲が高まり、どんな困難な状態にも前向きに取り組むことができるんだと改めて気付かされました。

最後になりますが、ともて素晴らしい地区大会、是非皆さんも来年桑名市に行きましよう！

幹事報告(第2683回)

- 次回例会は10月22日(火)大垣フォーラムホテルにて『岐阜西濃グループIM・9RC合同ガバナー公式訪問例会&懇親会』
- 11月5日(火)増強夜間例会 開催のご案内をレターケースに配布
- 10月20日(日)地区R財団研修セミナー(補助金管理)が11:00よりプラトンホテル四日市にて開催
同日、ポリオ根絶ミーティングが13:30よりプラトンホテル四日市にて開催
【安藤会長エレクト・平松R財団委員長】
- 10月のロータリーレートは1ドル=142円
- 回覧内容
 - ①11月5日(火)夜間例会 出欠確認名簿
 - ②地区大会参加のお礼
 - ③岐阜サリバーRC・羽島RC合同ゴルフ出欠確認名簿
 - ④財団法人米山記念奨学会より『ハイライトよねやま』
 - ⑤第16回ロータリー韓日親善会議について

≪第4回理事役員会 報告≫

- 11月のプログラムについて **承認** 次号会報掲載



本日の例会の食事

